News Release

2021年6月30日発行

ウズベキスタンで初となる VE&TRIZ セミナーを開催

イベント: UJICY Innovation Seminar Series 2021

開催日:第1回:20216月16日(水) 第2回:2021年6月23日(水)

場 所:ウズベキスタン・日本青年技術革新センター/オンライン(Zoom)によるハイブリッド開催

主催:ウズベキスタン・日本青年技術革新センター(UJICY)

協 賛: タシケント工科大学・タシケント経済大学・JICA・日本 VE 協会

参加者: 第1回: 約40名 第2回: 約20名

セミナー概要

体系的な創造的思考である VE/TRIZ を 2 回にわたるセミナー・ワークショップで紹介しました。 VE/TRIZ は、20 世紀 半ばに開発され、現在、世界中の様々な業種の企業が、新しい製品や技術の開発、既存製品の価値向上や業務改善を目的として活用しています。 VE/TRIZ を定着させることにより、組織での革新的なイノベーションを日常的なものにすることができます。 主催した UJICY(Uzbek-Japan Innovation Center for Youth)はウズベキスタン政府の研究機関で、同国におけるイノベーションの普及推進を行っています。 仕事で解決困難な問題に直面している方、組織でイノベーションを起こす必要性を感じているマネージャー等に向けて企画されました。

講師は立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科教授(制バリュー・イノベーション研究所取締役・所長の澤口学氏、現地タシケント工科大学副学長の西山聖久氏が務めました。

第1回 Introduction to VE·TRIZ/体系的なイノベーション創出法

VE/TRIZ の概要や企業における活用事例を紹介。イノベーションを起こすための体型的な理論である VE・TRIZ の全体像を講義で学びました。

第2回 Practical session/VE·TRIZ を体験する

VE・TRIZ を活用することにより、具体的にどのような手順でイノベーションに向けた思考を進めていくのかを理解するため、 実際にイノベーションをどのように起こしていくのかを、簡単な事例を使って体験しました。

- ・機能系統図を作ってアイディア出すことを体験(サラサのペン)
- ・矛盾を設定してアイディアを出すことを体験(スーツケース)
- ・企業での活用事例

VEとは?

VE(Value Engineering)とは、米国で開発された製品やサービスの「価値」を、それが果たすべき「機能」とそのためにかける「コスト」との関係で把握し、システム化された手順によって「価値」の向上をはかる手法です。現在は、業務の改善といった価値向上を目指す活動に導入されています。

本件お問合せ先:公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会《担当:上杉》

東京都世田谷区駒沢 1-4-15 真井ビル 6 階 TEL: 03-5430-4488 FAX: 03-5430-4431

1

News Release

2021年6月30日発行

TRIZ (Theory of Inventive Problem Solving) とは?

TRIZ(発明的問題解決理論)とは、技術的な問題解決のエッセンスの集合体である「特許」を徹底的に分析することにより見えてきた、先人たちによる問題解決の規則性、また技術が進化する過程での普遍的パターンなどに基づいて旧ソ連で開発された、問題解決手法です。

【現地の写真は Uzbek-Japan Innovation Center of Youth 提供】



Table TU

Table

セミナー案内ポスター

ワークショップの模様







Zoomで指導した澤口講師(左上)現地参加者と西山講師

本件お問合せ先:公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会《担当:上杉》

東京都世田谷区駒沢 1-4-15 真井ビル 6 階 TEL: 03-5430-4488 FAX: 03-5430-4431

 2